



やまさき

「お弁当」がつないだ地域交流

山崎高校がふれあいクリスマス会を開催

12月18日（火）、宍粟防災

センターにて、山崎高校生活創造科の生徒が社協の配食サービス利用者へ、ふれあいクリスマス会を実施しました。

この催しは、日頃、配食ボランティア活動をしている生徒たちが、顔見知りになっている利用者さんへ、配食時に声かけやチラシで案内を行いました。

2学期早々から準備を始めた山高生の皆さん。参加者の笑顔や喜ばれる姿を思いながらいざ本番。

ミニファッションショーやゲーム、保育園児との交流に



ペープサート（紙人形劇）

制作に約一年
手作りの綺麗なドレス



参加者へプレゼント



山崎聖旨保育園児が手話や中国語・英語で歌を披露



19年目を迎えた今年は総勢約80名が交流しました

楽しいひと時となりました。

また、生徒手作りのケーキやプレゼントに「嬉しいわ、学校へお礼状を出してもいいかしら」、「いつもはテレビとしか話さんけど、今日はよく話したわ」と、笑顔いっぱい参加者の皆さんでした。

（山崎支部 春名豊滋）

いのみや

新年祝い 元日に色とりどりの凧

第33回一宮新春凧あげまつり

播磨一宮凧の会主催（田中

豊彦会長）の第33回一宮新春凧あげまつり（宍粟市・宍粟市教委・当社協など後援）が、元日午後1時より、一宮保健福祉センター北側の市道や周辺の田んぼを会場に行われ、約二百人が参加しました。今回は、年末からの寒波の影響で北風が強く、参加した42の手作り凧すべてがそれぞれ大空高くあがりました。また、加古川やたつの、姫路から参加された日本の凧の会の会員による六角凧や連凧など珍しい凧もよくあがりました。

さらに今回は、播磨一宮凧の会の田中豊彦会長が「歳の数だけ連凧を」の合言葉で年末に制作された「傘寿記念の八十枚の色とりどりの連凧」が美しくあがり、参加者から「きれいなあ。お正月らし



上：元日の空高くあがる80の連凧



下：参加者のみなさんといっしょに

いなあ」などの声が聞かれました。なお、当日の入賞者は次のとおり。

▽最優秀凧あげ大賞 栗山シスターズ▽市長賞 中野未歩▽教育長賞 小林隆聖▽議長賞 西山斐貴▽社協会長賞 堂田隼杜▽商工会長賞 守本由奈▽はりま一宮LC会長賞 小林裕征▽JAハリマ組合長賞 仲井理起▽子連協一宮支部会長賞 山本真央（以上敬称略）

（一宮支部 山本正幸）